



Title	日本語・日本文化 第29号 奥付
Author(s)	
Citation	日本語・日本文化. 2003, 29
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/22172
rights	本文データはCiNiiから複製したものである
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

執筆者紹介（掲載順）

小林可奈子	本センター非常勤講師
Casson Nicholas	本学大学院博士後期課程
澤西 稔子	本センター非常勤講師
中田 一志	本センター助教授
西岡 美樹	本センター非常勤講師
三宅 節子	本センター非常勤講師
Uva David	本学大学院博士後期課程
大塚 淳子	本センター非常勤講師
岸本 恵実	本センター専任講師

編集後記

今年度、本センターの二つ目の紀要として、『大阪外国語大学留学生日本語教育センター 授業研究』が創刊された。これは、日頃の留学生教育の中から生み出されてきた方法論や教材論等の研究に発表の場を提供するものである。本誌と『授業研究』が互いに刺激しあい、センターの教育研究基盤がさらに強固なものになるよう期待してやまない。

さて、29号では、研究論文6点、研究ノート1点、研究報告2点の計9論稿を掲載することができた。ここ10年、本誌での執筆者はすべてセンター所属教官であったが、今号より日本語・日本文化を専攻する大学院生にも門戸を開くことになった。喜ばしいことに、本センターでかつて学んだ2名の学生より投稿があり、査読の上、採用を決定した。明治期の代表的「日本主義者」杉浦重剛について、その思想的萌芽をマンエスター留学時代に求めたカッソン論文、そして *Transactions of the Asiatic Society of Japan* 収録論文の内容分析を通して、日清・日露戦争が初期日本学に与えた影響を論じたウヴァ英文ノートがそれである。今後とも大学院生の意欲的な研究論稿は歓迎したい。

(M.I.)

『日本語・日本文化』投稿規定

1. 資格：本センター所属教官（非常勤を含む）及び『日本語・日本文化』編集委員会において適当と認められた者。
 2. 内容：日本語・日本文化等に関する未発表の研究論文・研究ノート・研究報告等。
 3. 体裁：研究論文は400字詰原稿用紙50枚前後（欧文はA4ダブルスペース30枚前後）、研究ノート・研究報告は25枚前後（欧文は15枚前後）。
 4. 要旨：本文和文の場合、欧文による要旨（A4ダブルスペース1枚）を、欧文の場合は、和文による要旨（800字程度）を添付。
 5. 採否：原稿の採否は『日本語・日本文化』編集委員会が決定。
-

編集委員

生森將人	小林明美	山本 進
水田明男	加藤 均	山川 太

日本語・日本文化 第29号

2003年3月29日 発行

編集発行 大阪外国语大学
留学生日本語教育センター
〒562-8558
箕面市粟生間谷東8-1-1
電話 (072)730-5459
FAX (072)730-5074
印刷 中西印刷株式会社